最上クロスロード 国道の号 高屋道路通信 第6号 今和元年9月 発行

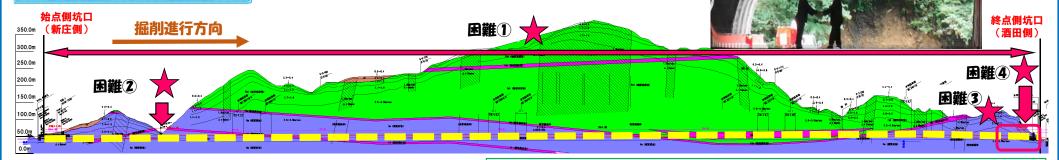
◆最上クロスロードについて◆ 新庄市は、南北に国道13号と奥羽本線が縦断し、東西に横断する国道47号と陸羽東線、陸羽西線が交差することから「東北の十字路」と呼ばれ、交通の要衝として栄えてきました。現在、「新らたなクロスロード」として国道13号泉田道路、新庄金山道路と国道47号新庄古口道路、高屋道路を整備をすすめていることから「最上クロスロード」と題し、事業進捗や工事状況等を随時お知らせして参ります。

様々な困難を克服し 猪ノ鼻トンネル無事貫通!!

猪ノ鼻トンネル工事を受注した大成建設㈱により平成27年10月から掘削作業が開始され、令和元年8月29日までの約4年の時を経て、全長2,926mが無事に貫通し、施工会社主催による貫通式がおこなわれました。

~貫通までの軌跡~

猪/鼻トンネル(全長2.926m)



困難① 可燃性ガス(全線) トンネル路線上全線の地山から 可燃性ガス(メタンガス)確認! 一定濃度になると大爆発を起こす!! 難傷度 ☆ ☆ ☆ ☆

困難3 膨張性地山

ボーリングコアから膨張地山を確認!トンネルが変形、崩壊する恐れあり!

困難2 低土被り

困難4 地すべい面

トンネル掘削箇所に地すべり跡確認! トンネル掘削で山全体を動かす 恐れあり!!

施工者コメント (大成建設(株) 猪ノ鼻トンネル工事 森島所長)

平成27年10月より掘削開始した猪ノ鼻トンネルは、年号が変わり令和元年6月12日無事延長2,926m貫通しました。

掘削開始前には、地山からの可燃性ガス発生が確認され、様々な安全対策や設備の増強が必要となり、当初の施工計画を大幅に見直す必要がありました。また、三の滝沢下部の低土被り区間では、沢部の自然環境保護の観点から地表面での対策を実施することができず、技術を組み合わせる工夫(小断面で掘削し状況確認、トンネルと地山の縁切り、振動を低減させる発破)により、トンネル坑内への沢水の流入を防止し、無事当該区間を通過しました。終点側付近では、膨張性地山が確認され、支保構造の増強や掘削補助工法の併用などにより無事貫通に至りました。

当初想定していなかった様々な特殊地山が存在し、難工事となりましたがその課題を発注者と協力し、無事貫通したことを心より嬉しく思っております。

今後は、坑内の排水設備や坑門工などまだまだ、残りの工事がある中、 慎重に慎重を重ね、来年7月の竣工へ向けて安全に、そして品質の良い ものづくりを実施し、「地図に残る仕事。」に恥じないように全力を尽 くしていきますので今後ともよろしくお願いします。



大成建設㈱東北支店 猪ノ鼻トンネル作業所 作業所長(監理技術者) 森島 伸吾

<ご意見・お問い合わせ先>

国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄建設専門官室

TEL: 0233 (22) 1731, FAX: 0233 (22) 1731

〒996-0041 新庄市大字鳥越字舟田608-2 (新庄国道維持出張所内)

(新庄国道維持出張所HP) http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/shiniji/index.html